

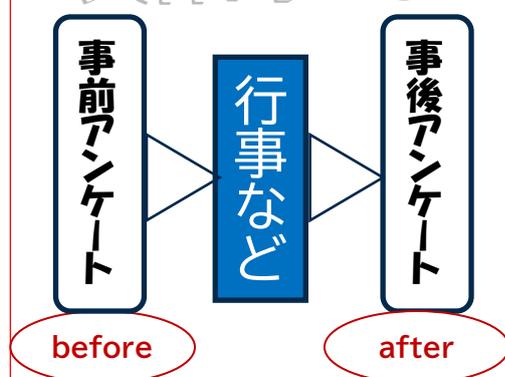
# 道徳だより「清桜流」道徳・人権スタート号

R7.10.29.Wed. VOL.11

## はじめに

令和3年4月1日に開校した清桜高校は今年度、文部科学省の「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」の指定を受けました。学校の教育目標である、「生徒の人格形成に努め、確かな学力と豊かな人間性の向上を図るとともに、様々な課題を主体的に解決し、地域のリーダーとして幅広く活躍できる資質・能力を育成する」教育を実現するため、生徒皆さんの進路実現に役立つ道徳教育を学校教育活動のさまざまな場面で全職員の共通理解のもと、取り組んでいきます。

## 具体的には



行事などの前後にGoogleフォームを利用して声を集め、「道徳だより」や清桜高校ホームページで公開して、相互理解を幅広く進め、生徒の自己実現の手立てとします。

## 道徳・人権を取り巻く社会情勢

# SDGs

2015（平成27）年、国連総会は2030年までに世界が達成しなければならない具体的な目標（持続可能な開発目標）を立てました。

目標4「質の高い教育をみんなに」には、次のターゲットが示されています。

（前略）そのために、たとえば、持続可能な社会をつくるための教育や、持続可能な生活のしかた、人権や男女の平等、平和や暴力を使わないこと、世界市民としての意識、さまざまな文化があることなどを理解できる教育をすすめる。

# いじめ

現在、義務教育では「特別の教科 道徳」を通して、いじめに自分自身の問題として向き合うための「考え、議論する道徳」授業を展開しています。

### 価値観からスタート

## 教材重視からの脱却をめざす

「清桜マニュアル2025」の「生徒心得」には、生徒が実践する望ましい生活習慣として、次の内容が記されています。

- ・互いの人格を尊重し、深い連帯の意識を持って良好な人間関係を構築する。
- ・インターネットやSNS等の利用については、その利便性と危険性を十分理解し、被害者にも加害者にもならないような利用方法を心がける。

## 現代社会にある様々な人権課題

女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、HIV感染者・ハンセン病患者等、刑を終えて出所した人、犯罪被害者など、インターネットによる人権侵害、北朝鮮当局による拉致問題など、その他（LGBTのような性の多様性に係わる課題など）

# 「自分事」として access

## 「清桜流」道徳・人権の構築をめざす

# 「清桜爛漫」

様々な人権課題に人として向き合えるよう、校訓「清桜爛漫」を自分の身にひきつけて考えてふさわしい行動を実践する、校訓を活かした学びを展開していきます。

Smile(笑顔)

Exploration(探究)

Initiative(主体性)

Originality(個性)

清桜爛漫

「爛漫(らんまん)」

1 花が咲き乱れているさま。

2 光り輝くさま。明らかにあらわれるさま。

校訓を活かし、学校を盛り上げよう！

## Q 体育祭に向けて(回答数186)

- ・人生最後の体育祭なので1年の時よりもしっかり盛り上げ、楽しめるように予行練習からしっかりと真面目に取り組んで、新たな思い出の1ページをつくりたいです。
- ・最後の体育祭なのでクラスのみならず一致団結して楽しみたい。
- ・他学年と交流できる高校最後の行事なので、悔いの残らない思い出にしたい。
- ・高校生活最後、人生においても最後の体育祭になるので最後まではなんとしても1位を取って終わりたい。でも、一番は楽しむことなので、自分が出る種目はもちろん、1位を取りつつクラスで団結し、クラスの仲も深めたいです。
- ・足を引っ張らないように頑張る。怪我しない、させない。楽しむ。できれば良い結果を残したいし、勝ちたい。
- ・みんなに迷惑をかけず、熱くなりすぎず、冷めすぎず、ちょうどよいくらいに頑張りたい。
- ・清桜高校に入って初めての体育祭でいきなり団りレーに出ることが決まったり、応援パフォーマンスをしたりするので、体育祭を先輩と一緒に盛り上げていきたいです。

R7.10.16.体育祭

清桜高校として第2回目の体育祭は、応援パフォーマンスなど、新しい要素も取り入れて躍動感あふれるイベントとなりました。

## Q 体育祭を終えて(回答数212)

- ・クラス対抗リレーが優勝できて良かった。バトンパスを練習したので、その成果が出てうれしかった。
- ・団で協力して楽しめたので良かったです。体育祭いい思い出になりました。
- ・自分の競技だけでなく、他の人の競技の時も自分の団を応援して、とても熱くなれました。
- ・ほんとに楽しかったです。団のみんなで協力する感じとか盛り上がり具合を見て清桜がもっと好きになりました。
- ・チームワークが発揮された行事だと思った。先輩方や後輩とも声を掛け合って、より協力している感じがあった。年次の枠を越えた行事は多くないので、こういう機会があることは年次の絆をつなげられる行事になるなと思った
- ・言葉にできないくらい楽しかった。球技大会チャンピオンシップも含めて、他の年次と交流できたこと、クラスメートや友達と協力したり共に戦ったり競い合えたりできたこと。忘れられない日になった。生徒会総務のみなさんありがとう！！

一致団結して競技に臨み、清桜を好きになるきっかけになりました。

みちるバ  
様々な“voice” 相互理解の道標